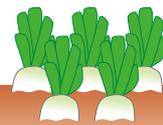
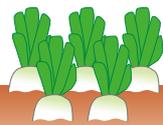


5 土の種類・性質によって、堆肥の効果の出方が変わる

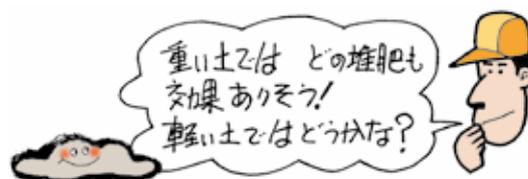


土の性質で堆肥の効果の出方が変わる（ミズナの生育比較）

	成分		葉の重量 (g)		根の重量比率 (%)	
	窒素 (現物%)	C/N比	黒ぼく土 (軽い土)	灰色低地土 (重い土)	黒ぼく土 (軽い土)	灰色低地土 (重い土)
●肥料効果型						
豚糞堆肥	3.0	9.7	95	145	27	23
鶏糞堆肥	3.4	9.1	120	134	34	28
●根づくり効果型						
落ち葉・牛糞など堆肥	0.6	26.0	40	130	50	21
化成肥料のみ	—	—	84	114	40	28



2つの土で各種堆肥を施してミズナの育ちを比べた



●重い土と軽い土 2タイプの特徴は

土には、粘土質で重い土と、火山灰土のようにサラサラして軽い土があります。重い土は、土の孔^{こう}隙^{げき}（すきま）が少ないため通気性・排水性が悪く、根の発達が妨げられやすい傾向があります。軽い土は、孔隙が多いので通気性・排水性がよく、根の発達は優れる反面、乾燥しすぎて、水不足による養分吸収の低下を招きやすいという特徴があります。

灰色低地土は、雨が降ればどろどろにぬかり、やがて硬くしまって、乾くと裸足で歩くのも痛いほどに固まる、通気性の悪い重い土です。一方、黒ぼく土は、腐植をたくさん含み乾燥しやすく、保水